

あなたのお店を拝見 変化する農家に柔軟に対応し、 頑張る農家を応援

株式会社高橋農機商会

その279

誠実に農家と向き合い、また職場では女性従業員の活躍の場を広げ成長を続ける株式会社高橋農機商会(秋田県大仙市宇和野302 代表取締役 高橋貞彦氏)を訪ねた。

秋田県の県道10号線、羽州街道沿いに株式会社高橋農機商会があります。高橋農機商会は、高橋社長の父、現会長が23歳の時に独立し開業しました。昭和31年9月1日のことです。



社長 高橋貞彦氏



高橋農機商会



整備工場

現社長の高橋貞彦氏は長野県松本市の石川島シバウラ機械などで主に整備の仕事をしてきた。昭和56年同社に入社。当時はシバウラのトラクター等をメインに販売をしていました。平成3年にシバウラがヤンマー農機(当時)と業務提携したのを機にヤンマーと共立の製品をメインに販売していくことになりました。

この時、他メーカーを選択する道もありましたが、当時ヤンマーの仙台支店長が何度も店を訪ねてくれるうちに親しみを感ずり、ヤンマー製品を扱うことを決めたと語ります。またヤンマーの性能の良さもありましたが、メーカーが変わっても従来からのお客様には熱心に売り込みをすれ

秋田県でも集落農機が進み、農家の数も減り少しく中、機械の購入では入札も増えてきました。競争も激しく直接利益につながることは少ないですが、入札後の販売や整備、新規需要の獲得等によって利益を出せることもあるため、地元や従来からの顧客の入札案件はできる限り対応しているそうです。

また、この地は米作中心の地域ですが、補助金を活用しハウス内で野菜の栽培を始める人も出てきました。

一方で小規模で頑張っている農家もまた多くいます。このように農業を行う

販売では中古農機の需要も高く、本店から少し離れた場所に新設農機及び中古農機を展示するスペースがあります。展示会等もこの場所で行っているそうです。但し、これはこの農機店でも同じ悩みを聞きますが、最近中古農機が不足気味で、売れ筋の機種が品薄状態が続いているとのことでした。

高橋農機商会は、高橋社長の父、現会長が23歳の時に独立し開業しました。昭和31年9月1日のことです。

この時、他メーカーを選択する道もありましたが、当時ヤンマーの仙台支店長が何度も店を訪ねてくれるうちに親しみを感ずり、ヤンマー製品を扱うことを決めたと語ります。

平成7年には会社を法人化し株式会社高橋農機商会とし、平成10年に代表取締役社長に就任、現在に至っています。

環境が多様化している中、頑張る農家を応援していく柔軟な対応を続け、今後も成長していきたいと話されています。

販売では中古農機の需要も高く、本店から少し離れた場所に新設農機及び中古農機を展示するスペースがあります。展示会等もこの場所で行っているそうです。但し、これはこの農機店でも同じ悩みを聞きますが、最近中古農機が不足気味で、売れ筋の機種が品薄状態が続いているとのことでした。

高橋農機商会は男性が3名、女性が4名の構成です。男性は整備と営業を担当し、女性は事務と店頭販売を担当しています。

女性の従業員には、商品の知識、機械の取り付け、操作方法などを覚えてもらい、例えば草刈り機なら組立から操作説明、引き渡しまでの一連のことが一人で出来るようにしています。

店頭販売全般を女性に任せようという考えで、女性従業員に事務だけでなく、店舗販売全般を任せようとして、10年

高橋社長は、後継者については今のところ大学2年生になる御子息が継いでくれるだろうと話されています。ただ少し先の話なので実際にどうなるか、わかりませんが、一度は外で勉強して、それから戻ってきてほしいと思っています。



イベントにも活用する展示場



専務 高橋豊彦氏



店舗販売 ショップヤマキ



本社展示場

農業女子プロジェクトよりも早く 女性従業員が活躍!!

高橋農機商会は男性が3名、女性が4名の構成です。男性は整備と営業を担当し、女性は事務と店頭販売を担当しています。

以上前から取り組み始めました。また農家でも実際に女性が機械を操作していることも多いので、農機販売店に勤めている女性が農機を操作することは特別なことではないと思ったりも始めるきっかけになったそうです。

当初は、やってくれぬ心配もあったそうですが、皆進んで取り組んでくれたそうです。今では2サイクルエンジンのプラグや燃料フィルターとの交換のことなどはできる様になりました。どうしても動かなかった機械を女性が簡単に直すのを見て驚いて帰られるお客様もいるそうです。

商品は知識を深めるため、朝礼の時、従業員に商品の説明をさせるなど勉強するきっかけや機会を用意するなど、従業員教育に工夫を凝らし取り組んでいます。また販売面でも各人に目標を持たせることで、さらにやる気を引き出し、小物類の販売数を伸ばしているとのことでした。

○従業員の福祉向上のために《福祉補償制度》にご加入下さい。

代理店 全国農業機械商業協同組合連合会

委託保険会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社